

# 2019年度 日本体験旅行

函館小旅行(ベトナム・ミャンマー・タイ・マレーシア組参加)

国際交流体験の様子が北海道新聞に掲載されました！

2020年1月27日(月) 北海道新聞 みなみ風

北海道新聞(夕刊)

2020年(令和2年)1月27日(月曜日)

## ゲーム通じ異文化交流

東南アジアの学生や函教大生ら

グループディスカッションも

東南アジアの学生、社会人と道教大函館校の留学生や大生らが参加する「異文化交流」が22日、道教大函館校で開かれ、参加者がグループディスカッションなどを通じて交流を深めた。



グループディスカッションで意見を書き留める参加者

参加したのは、ベトナム、ミャンマー、タイ、マレーシアの20人。国立国際交流センター(東京)が4カ国で開いた

スイスやスウェーデンを訪れ

た日本語体験コンテストの入賞者を対象にした日本体験旅行で通訳4人と22、24日に訪れた。

22日の交流会には、道教大函館校の留学生や大学生ら15人が参加。各国の文化事情を知る25項目を参加者同士で聞き合い、縦、横、斜めの3本でビンゴする「地球ビンゴ」を実施後、五つのグループに分かれて、各自自己紹介し、

ボランティア入門  
15日から宿泊講座

15歳以上対象

函館市谷地頭町5の市青少年研修センターふるる函館は2月15日午後1時から1泊2日の日程で、子どもたちの体験ボランティアに関心がある15歳以上を対象にした「ボランティア入門」を同所で開く。

国立阿蘇青少年交流の家の北見靖直次長が講師を務め、

「有名な日本の企業」や「好きな日本食」などを書き留めて数を競うゲームを行った。

ミャンマーから参加した日本語教師のメイティンカインさん(22)は「日本は街がきれいで、静かで規則正しいところが好き。交流会は楽しくて面白かった。友達もできたのでうれし」と話していた。

「子どもたちの何かを褒めるのか？ 子どもたちを何が変えるのか？」をテーマに、現場で役立つチーム力や支援力、現場力など五つの力を学ぶ。解散は16日午後3時。参加費は2500円(活動費、宿泊費、食費、保険料含む)。定員20人になり次第締め切る。

申し込みは同センター ☎0138・233・5961(18月曜、祝日休館)。



第6345号

北海道新聞函館支社  
情報提供は ☎ 0138-32-5193  
フリーFAX 0120-324-072  
電子メール minamikaze@hokkaido-np.co.jp  
掲載写真の購入は ☎ 0138-32-5118  
有料広告は ☎ 0138-32-5124

10時館の遊

館9)も参、時、日版各合